

A cyclist wearing a white helmet and a bright yellow-green jersey is riding away from the camera on a paved road. The road curves to the right. In the background, there is a large, green, hilly landscape leading up to a prominent, snow-capped mountain peak under a clear blue sky with some light clouds. The overall scene is bright and scenic.

サイクルスポーツ県づくりについて

静岡県における官民協働の取組

静岡県 文化・観光部 スポーツ担当部長 広岡健一

サイクルスポーツの聖地づくりに向けた取組

これまでの経緯

平成27年12月 オリンピック自転車競技の本県開催が決定

トラック・MTBの伊豆開催が決定(パラリンピック自転車競技はH28.4決定)

平成28年5月 静岡県サイクルスポーツ協議会を設立

目的: オリンピック・パラリンピック自転車競技開催を契機に、国内外のサイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”を実現する

座長: 静岡県文化・観光部スポーツ局長

委員: 自転車競技・サイクリング普及団体、サイクリスト受入団体、地域実践団体及び行政の関係機関 官民の26名(地域実践団体と一部行政関係の5名はH28から参画)

取組: H28 ●実走調査の実施(6地域、6コース)
●サイクルスポーツの聖地実現に向けた戦略体系の構築
H29 ●受入態勢の整備
・静岡県のサイクル情報を一元化したウェブサイト開設
・バイシクルピットの整備(東部・伊豆地域)
・県民が自転車に親しむイベントの開催(5圏域)
●地域実践団体の参画
・東部・伊豆地域において協働事業の先行実施(9月補正)
●ツーリズム部会と安全部会を設置

平成30年4月 静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議を設立

議長: 静岡県知事 副議長: 市長会長、町村会長

委員: 競技、ツーリズム、愛好者の裾野拡大、走行環境整備 各関係者27名

取組: ●静岡県自転車活用推進計画の策定(平成31年3月予定)

●地域実践団体による取組(全県)

サイクルスポーツの聖地実現に向けた戦略体系

国内外から多くのサイクリスト、自転車競技者が訪れ、交流する地域
住民の多くが自転車に親しみ、サイクリストを理解し、温かくもてなす地域社会

トラック、MTB、ロード・
パラサイクリング等競技の
アジアの中心地への成長

プロ、競技選手
(トップアスリート)

競技会場整備

日本随一の自転車
アスリート育成体制の創出

競技部、実業団選手等
(アスリート)

競技・練習環境整備

国際的なサイクル
ツーリズムの目的地の創造

スポーツや
レクリエーション
としての利用者

自転車を安全・快適に利用し、
誰もが親しむ地域社会の形成

県民自転車愛好家
(サイクリスト)

自転車走行
空間整備

観光客

日常生活の移動手段
としての利用者

障害の
ある方など

ソフト整備

ハード整備

くらし交通安全の関連施策

応援する人・ 観戦愛好家

サイクリスト受入態勢整備(1)

● サイクル情報の発信



- ・サイクル情報を一元的に発信
- ・「ハローナビしずおか(静岡県観光協会)」内に設置

● バイシクルピット



自転車ラック、工具を備えた道の駅「くるら戸田」

● サイクリストウェルカムな宿



- ・室内に自転車を持ち込みできる宿泊施設

● 公共交通機関の対応 (モーダルミックス)

バス (東海自動車)



- ・サイクルラックを備えたバスの運行
- ・乗客1名につき1台利用可能 (無料)

鉄道 (伊豆急、伊豆箱根鉄道、天竜浜名湖鉄道)



- ・サイクルトレインの運行



駿河湾フェリー



クルーズ&ライドで海と山を堪能

サイクリスト受入態勢整備 (2)

● その他のサイクル拠点

・ サイクルステーション

NUMAZUサイクル
ステーション静岡東



廃校を活用したサイクル拠点
(沼津市旧静岡東小跡)

・ サイクリング等の拠点

富士山静岡空港



バイシクルピットを整備し、
空港周辺に3つのコースを設定

・ サイクリストウェルカムなカフェ

駅cafe (都田駅)



チェレステカフェ (沼津市)



・ レンタサイクル施設

はままつペダル



軽快車からロードバイクまで多様な
車種をレンタル

MERIDA X BASE



MERIDA国内取扱全車種の展示・
レンタルができる世界最大級の施設

道の駅
ゲートウェイ函南



民間企業と連携したレンタサイクル
サイクリストのためのカフェ

海外との交流(1)

●イタリア国フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州とのスポーツ交流協定



県民等8名がFVG州のレースに参加(H27年8月)



協定締結(H27年10月)

自転車大会が開催されているイタリア国フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州(FVG州)のゾンコラン山と富士山が同様の傾斜を持つことから、両県州で、Fuji-Zoncolanの冠をつけた自転車大会を開催。相互に参加をして交流を図っている。



イタリアから本県に29名が訪日
18名が大会参加(H28年10月)



県・小山町等24名がFVG州を訪問
11名がレースに出走(H29年8月)



本県大会に在日イタリア人が参加
五輪コースも試走(H30年10月)

海外との交流 (2)

●台湾と県内の自転車愛好家による自転車を通じた交流

Fuji-Zoncolanヒルクライム大会in小山町

ゆるゆる遠州が「ド」ライド



中華民国自転車騎士協会から13名が小山町ヒルクライム大会に来日(H29年10月)

中華民国自転車騎士協会の理事長が大会に参加し、完走。表彰のプレゼンターも務めた(H30年10月)

台湾口ハス協会から参加
H30年4月には、浜名湖1周をあわせて実施

美しい伊豆創造センター



モニターツアー(平成28年12月)
3480地区自転車隊5名が参加



平成29年6月センター
関係者7名が台湾訪問



台湾から45名が5日間の日程で来日
伊豆地域を堪能(平成29年9月)

トラック・マウンテンバイク競技会場(日本サイクルスポーツセンター)

《大会後の施設のコンセプト》

エリート選手から自転車初心者までが利用する自転車トレーニングヴィレッジとして活用を検討

《利活用戦略》

自転車競技の競技力向上の場

- ・競技団体公認(国際大会仕様)の機能を備えた競技施設
- ・ナショナルトレーニングセンターに相応しい宿泊施設の整備
- ・指導者の養成、確保 など

国内外の競技大会(競技イベント含む)の開催地

- ・観戦環境の整備
- ・大会の誘致、開催に向けた体制の確立
- ・大会のホスピタリティ及びエンターテインメント性の充実 など

世代や障害の有無を問わずサイクルスポーツに親しみ、学び、体験できる場

- ・広く県民等が自転車競技等に親しみ、学び、体験することができる場と機会の提供 など

伊豆半島・東部地域のサイクルツーリズムの拠点

- ・拠点として必要な情報発信機能等の設置 など

《レガシー創出に向けた関係者による連携した取組》

団体名	取組内容
競技団体	選手強化、指導者の養成、育成体制の整備 など
日本サイクルスポーツセンター(CSC)	大会レガシーとなる施設の維持・管理、裾野拡大に向けた取組の充実・拡大 など
JKA	競技力向上へ及び大会開催への支援(ソフト、ハード)、CSCとの連携、土地所有者 など
県、市、地域の団体	広く県民等が自転車競技等に親しみ、学び、体験することができる場と機会の提供 など

ロード競技会場(富士スピードウェイを含むロードレースコース)

《大会後の利活用に係る検討の方向性》

大会後、伊豆半島・東部エリアをロードレースのアジアの中心地とすべく、ツアー・オブ・ジャパンなどで使用されているコースの利活用と合わせて、競技大会の開催や一部の区間を利用したサイクリングへの活用を検討

《利活用戦略》

ロードレース大会の開催、サイクリングへの活用 など

《検討を進める上で必要な事項》

地域住民の自転車競技への理解促進と興味喚起、大会の開催に向けて必要な体制整備 など



ご清聴ありがとうございました

